MusicCAST

MCX-C15

コントローラー

MCX-CA15

アンプ

設置マニュアル

ご注意:
本機の設置は必ず関連知識を有する工事・施工業者が行ってください。お客様ご自身では設置しないでください。

設置上のご注意

本書は MCX-C15 コントローラーおよび MCX-CA15 アンプの設置について説明しています。
設置する前にお読みください。

絵表示の例

気をつけなければならない内容を表しています。

してはいけない行為を表しています。

必ずしなければならない行為を表しています。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

必ず行う

MCX-C15/MCX-CA15 を設置する際は、必ず本書に基づいて行う。

誤った設置や不十分な取り付けは MCX-C15/MCX-CA15 が落下してけがの原因となります。

必ず行う

取り付ける際は MCX-C15/MCX-CA15 の総合自重に長期間十分耐え、また地震にも十分耐える施工を行う。

不十分な取り付けを行った場合、MCX-C15/MCX-CA15 が落下してけがの原因となります。

必ず行う

安全確保のため、ボルトおよびネジ類は確実に締めつける。

MCX-C15/MCX-CA15 が落下してけがの原因となります。

必ず行う

取り付けに使う部品は必ず同梱された部品や指定された部品（市販品）を使用する。

MCX-C15/MCX-CA15 が落下してけがの原因となります。

禁止

こわれた部品を使用しない。

MCX-C15/MCX-CA15 が落下してけがの原因となります。

万一、部品がこわれた場合は販売店にご相談ください。

接触禁止

雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。

感電の原因となります。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

禁止

放熱のため MCX-C15/MCX-CA15 を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- あおむけや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
（少なくとも MCX-C15/MCX-CA15 の上下左右 10cm 以上離して設置してください。）

MCX-C15/MCX-CA15 の内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁止

MCX-C15/MCX-CA15 の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

- 水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
- 接触面が経年変化を起こし、MCX-C15/MCX-CA15 の外装を損傷する原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止

冷暖房の吐き出し口や振動の多い場所に設置しない。

MCX-C15/MCX-CA15 に悪影響が生じて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

MCX-C15/MCX-CA15 内部にほこりが堆積することによりショートして、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなるまたは低くなる場所（冷暖房機のそばなど）に設置しない。

変形したり、外装が変色する原因となることがあります。

禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。

外装が傷んだりすることがあります。

禁止

お客様による工事は一切行わないでください。
（工事は技術と経験が必要です。専門の工事業者または販売店にご依頼ください。）

不十分な取り付けは天吊金具や MCX-C15/MCX-CA15 が落下してけがをする原因となることがあります。

注意

取り付け後は、定期的に安全点検をする。

長期間使用すると経年変化や振動等により、ネジがゆるんだり、取り付け強度が低下することがあります。

プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

移動をするときには、MCX-C15/MCX-CA15（または接続機器）の電源を切り、すべての接続を外す。

- 機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
- コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

必ず行う

必ず付属の専用 AC アダプターおよび DC 電源ケーブルを使用する。

専用 AC アダプターおよび DC 電源ケーブル以外の使用は、火災や感電の原因となることがあります。

AC アダプターは電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届く状態でご使用ください。

目次

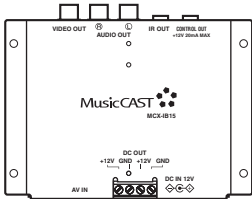
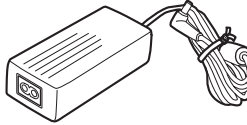
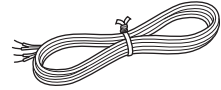
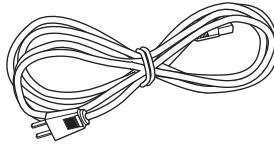
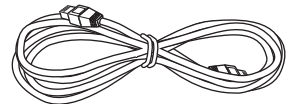
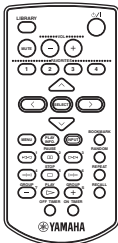
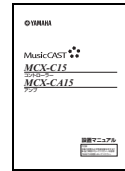
はじめに

設置

クライアント機の設定

付録

付属品の確認（MCX-C15）

同梱されている付属品を確認してください。

ご注意

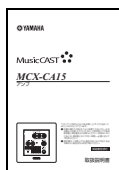
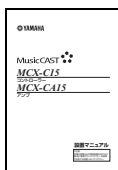
取扱説明書（CD-ROM）には、「MCX-C15 取扱説明書」と「バージョンアップマニュアル Vol.2」の 2 種類の PDF ファイルが含まれています。MCX-C15 の機能については「MCX-C15 取扱説明書」（C15_Manual_J.pdf）を、バージョンアップ 2 により追加される機能については「バージョンアップマニュアル Vol.2」（VersionUp_Manual_J.pdf）をご参照ください。

付属品の確認（MCX-CA15）

同梱されている付属品を確認してください。

ステレオピン / ミニ変換ケーブル（1m）

スペーサー 4 個

取扱説明書

設置マニュアル（本書）

MCX-C15/MCX-CA15 の設置

MCX-CA15 の動作モードを設定する

MCX-CA15 は MCX-C15 と組み合わせて使用することを目的としたパワーアンプですが、他のオーディオ機器のパワーアンプとしてもご使用いただけます。ただし接続する機器に応じて、MCX-CA15 の各部位に特定なはたらきを割り当てる必要があります。これを動作モードといいます。MCX-CA15 を各機器と接続する前に、以下の説明をよく読み、目的に応じた動作モードを設定してください。

ご注意

動作モードの設定は、MCX-CA15 を電源と接続する前に行ってください。

■動作モード

モード	説明	参照ページ
A モード	MCX-CA15 を MCX-C15 と接続する際に使用するモードです。このモードでは、MCX-C15 を操作して MCX-CA15 を制御することができます。また MCX-CA15 の IR/CTRL 端子に IR フラッシャーを接続して AV リンク機能を使用することも可能です。AV リンク機能について詳しくは、「MCX-C15 取扱説明書」(CD-ROM) の「本機でヤマハ AV アンプを操作する (AV リンク機能)」(☞ 47 ページ) をご参照ください。	6、7 ページ
B モード	MCX-CA15 を MCX-C15 以外の機器と接続する際に使用するモードです。このモードでは、INPUT SENSE で設定した入力感度により MCX-CA15 の電源が制御されます。入力感度については「MCX-CA15 取扱説明書」の「入力感度を調節する」(☞12 ページ) をご参照ください。	9 ページ
C モード	MCX-CA15 を MCX-C15 以外の機器と接続する際に使用するモードです。このモードでは、接続した外部機器の制御信号により MCX-CA15 の電源が制御されます。	9 ページ

ご注意

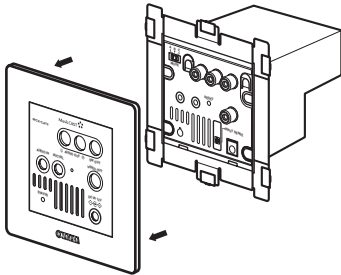
- MCX-CA15 では音量を調節することはできません。MCX-CA15 から音声を出力する前に、MCX-CA15 に接続した MCX-C15 や外部機器の音量を調節してください。
- MCX-CA15 と外部機器の接続および取り外しは、MCX-CA15 の AC アダプターをコンセントから抜いた状態で行ってください。

■動作モードを切り替える

以下の手順でMCX-CA15の動作モードを切り替えます。

ご注意

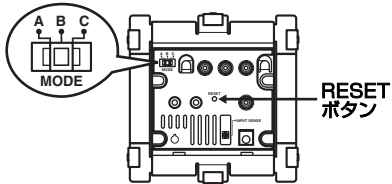
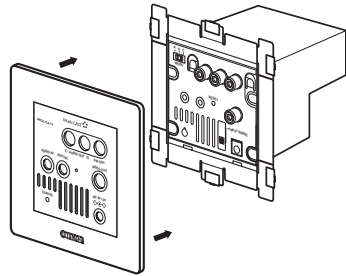
- MCX-CA15 の動作モードを、接続状態に合わせて設定してください（☞4 ページ）。
- フロントパネルを取り外したり取り付けたりする際は、パネルを無理に引っ張ったり押し込んだりしないでください。

1 フロントパネルを本体から取り外す。

2 MODEスイッチを使用する動作モード（☞4 ページ）にあわせる。

3 RESET ボタンを押す。

ボールペンなど先の細長いものを使用してボタンを押します。

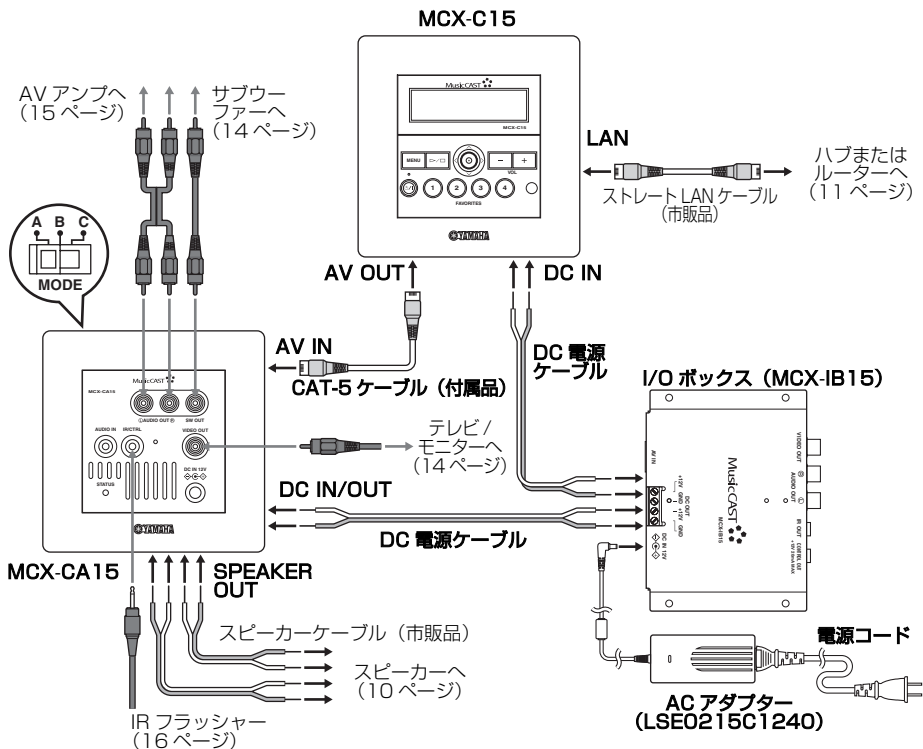
4 フロントパネルを本体に取り付ける。

設置

壁内部のケーブル接続

■MCX-C15、MCX-CA15、I/O ボックスを使用する場合

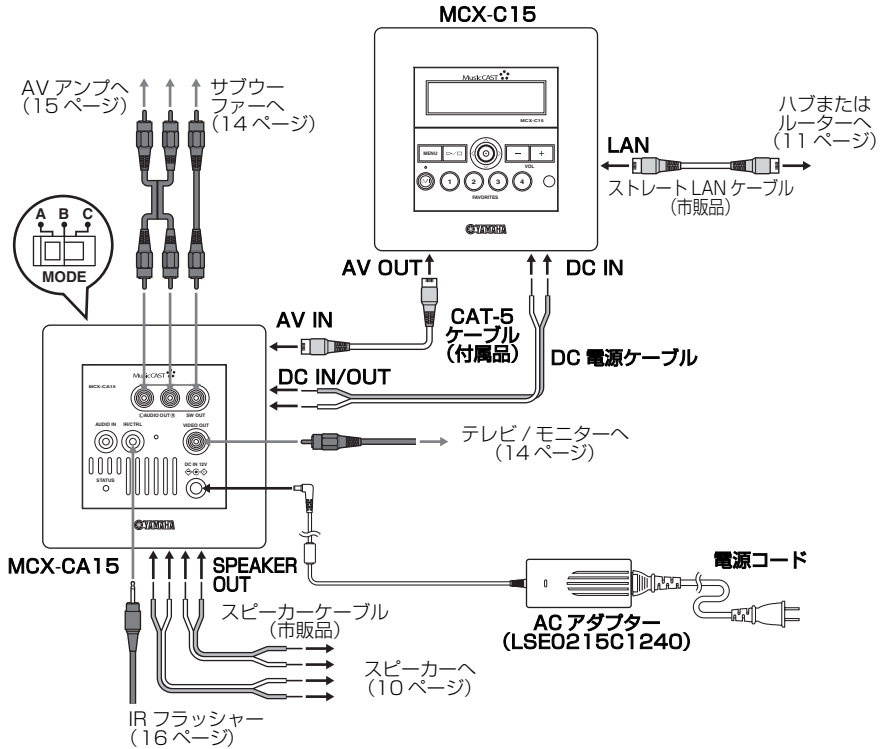
この接続では、MCX-C15 を使用して MCX-CA15 を制御することができます。MCX-C15、MCX-CA15 への電源は I/O ボックスから供給されます。

ご注意

- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- MCX-CA15 の動作モードを「A」に設定してください（☞4 ページ）。
- MCX-C15 と MCX-CA15 の接続は、MCX-C15 に付属の CAT-5 ケーブルを使用してください。
- MCX-C15 とハブまたはルーターの接続は、市販のストレート LAN ケーブルを使用してください。

■MCX-C15 と MCX-CA15 を使用する場合

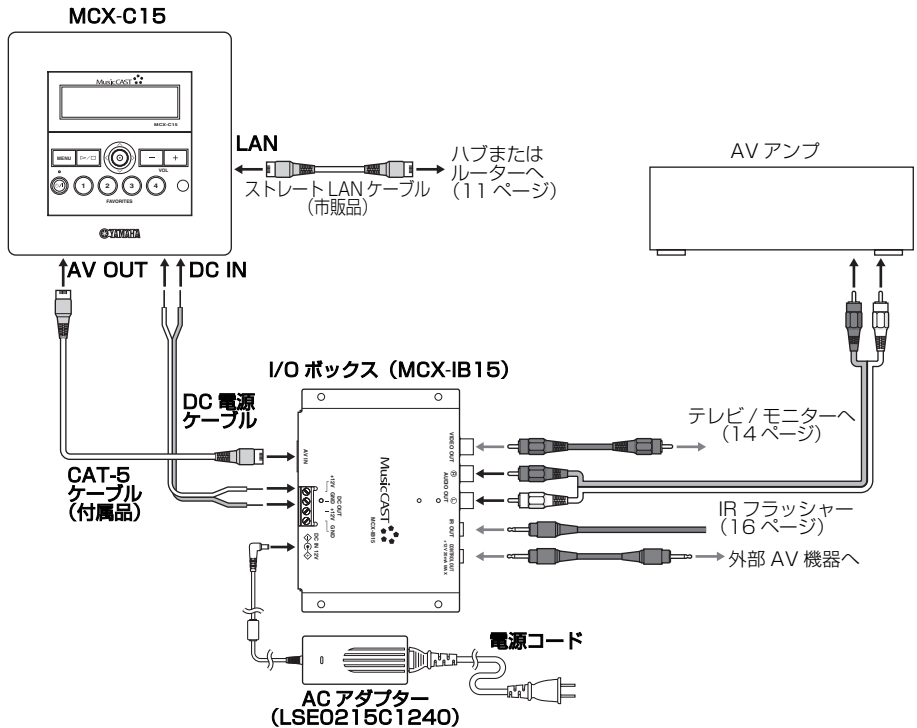
この接続では、MCX-C15 を使用して MCX-CA15 を制御することができます。MCX-C15 への電源は MCX-CA15 から供給されます。

ご注意

- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- MCX-CA15 の動作モードを「A」に設定してください（☞4 ページ）。
- MCX-C15とMCX-CA15の接続は、MCX-C15に付属のCAT-5ケーブルを使用してください。
- MCX-C15 とハブまたはルーターの接続は、市販のストレート LAN ケーブルを使用してください。

■MCX-C15 と I/O ボックスを使用する場合

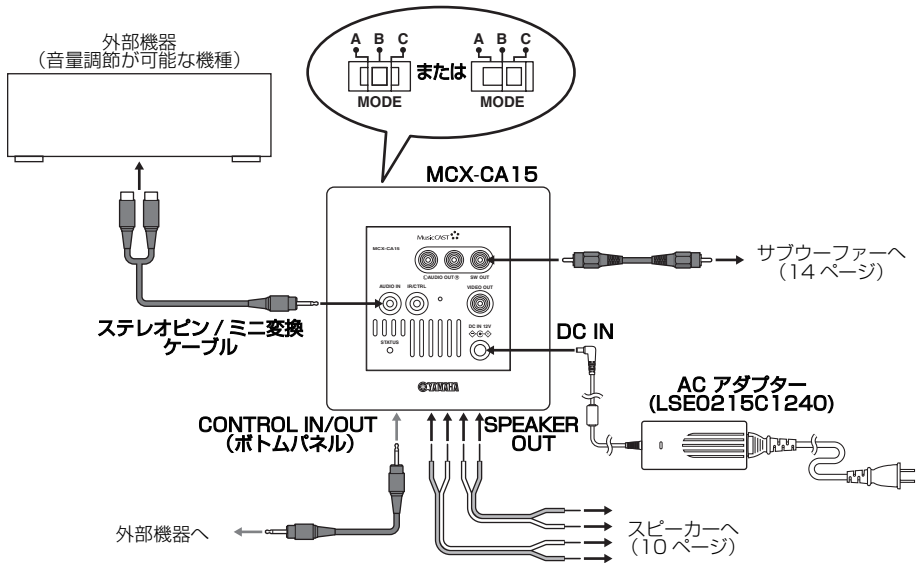
この接続では、MCX-C15 と AV アンプを組み合わせて使用します。また I/O ボックスの IR OUT 端子に IR フラッシャーを接続して AV リンク機能を使用することも可能です。AV リンク機能について詳しくは、「MCX-C15 取扱説明書」(CD-ROM)の「本機でヤマハ AV アンプを操作する(AV リンク機能)」(☞ 47 ページ)をご参照ください。

ご注意

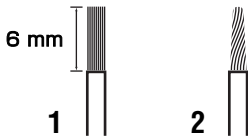
- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- MCX-C15とI/Oボックスの接続は、MCX-C15に付属のCAT-5ケーブルを使用してください。
- MCX-C15 とハブまたはルーターの接続は、市販のストレート LAN ケーブルを使用してください。

■MCX-CA15 のみを使用する場合

この接続では、MCX-CA15にMCX-C15以外の機器を組み合わせて使用します。またMCX-CA15同士のカスケード接続（☞17 ページ）でスレーブ機として使用することも可能です。

ご注意

- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- MCX-CA15 の電源モードを入力感度により制御する場合は動作モードを「B」に、外部機器の制御信号により制御する場合は動作モードを「C」に設定してください（☞4 ページ）。
- MCX-CA15 を MCX-C15 以外の機器のパワーアンプとして使用する場合（動作モード「B」または「C」）は、音量が調節できる外部機器と接続してください。音量調節は接続した外部機器で行なってください。

スピーカーケーブルを接続する

ご注意

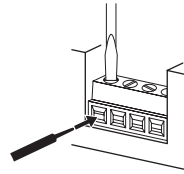
- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- スピーカーケーブルの芯線はしっかりよじり、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルに接触したり、＋側と－側が接触すると、保護回路が作動して電源がスリープ状態になることがあります。
- スピーカーは防磁型スピーカーをご使用ください。防磁型以外のスピーカーを使用すると、テレビ / モニターの画像が乱れることがあります。防磁型スピーカーをご使用の場合でも画像が乱れる場合は、テレビ / モニターとスピーカーを離して設置してください。
- スピーカーの＋端子と MCX-CA15 の＋端子、スピーカーの－端子と MCX-CA15 の－端子をそれぞれ接続してください。間違えて接続すると音が不自然になります。
- スピーカーはインピーダンスが 4Ω 以上のものをご使用ください。

1 スピーカーケーブル先端の絶縁部（被覆）を 6mm ぐらいはがす。

2 芯線をしっかりよじる。

芯線同士が接触してショートするのを防ぎます。

3 スピーカー端子のネジをゆるめる。

4 スピーカー端子の穴に芯線を差し込む。

5 スピーカー端子のネジを締めてスピーカーケーブルを固定する。

付属の DC 電源ケーブルを接続する

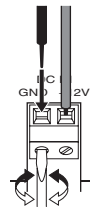
1 DC 電源ケーブル先端の絶縁部（被覆）を 6mm ぐらいはがす。

2 芯線をしっかりよじる。

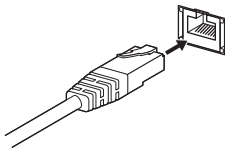
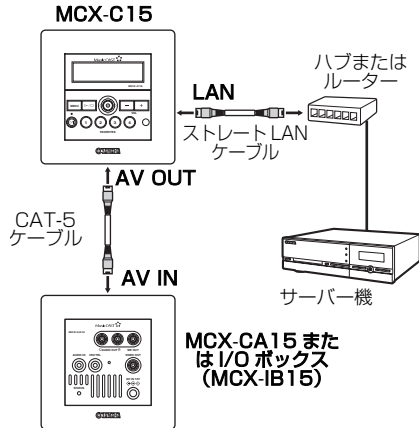
芯線同士が接触してショートするのを防ぎます。

3 DC 端子のネジをゆるめる。

4 DC 端子の穴に芯線を差し込む。

5 DC 端子のネジを締めて DC 電源ケーブルを固定する。

CAT-5 ケーブルを接続する

ご注意

- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- サーバー機と MCX-C15 はハブまたはルーター経由で接続してください。

CAT-5 ケーブル（ストレート LAN ケーブル）を接続する。

- MCX-C15とMCX-CA15またはI/Oボックスの接続は、付属の CAT-5 ケーブルを使用してください。
- MCX-C15 とサーバー機の接続は、市販のストレートLANケーブルを使用してください。

MCX-C15/MCX-CA15 を壁にはめ込む

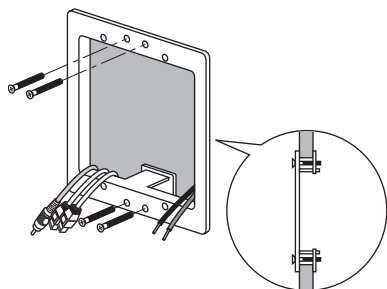
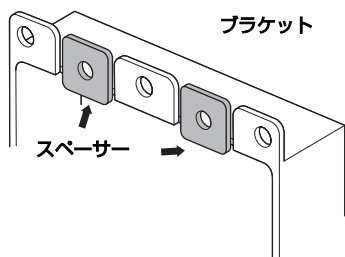
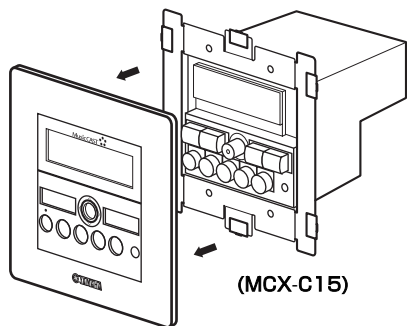
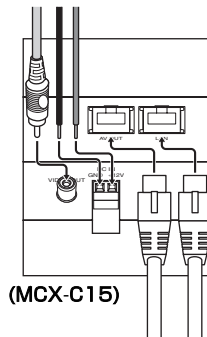
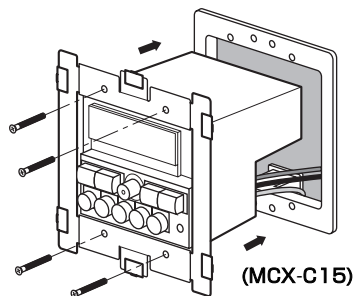
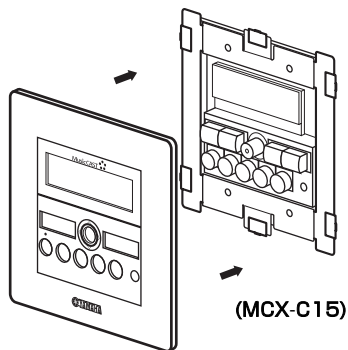
MCX-C15/MCX-CA15 はブラケットを使って壁にはめ込みます。以下の手順で設置してください。

ご注意

- 電源の接続は、すべての機器を接続した後で行ってください。
- MCX-C15/MCX-CA15 の上下左右にそれぞれ 10cm の通風スペースを確保し、断熱材などを取り除いてください。
- MCX-C15/MCX-CA15 を挿入する際、MCX-C15/MCX-CA15 と奥の壁面の間にケーブル類をはさまないようご注意ください。
- MCX-C15/MCX-CA15 を上下逆さまに取り付けないでください。MCX-C15/MCX-CA15 が過熱し、感電、発火、故障の原因になることがあります。

1 ブラケットのサイズに合わせて壁に穴を開ける。

設置

2 ブラケットを壁にネジ止めし、内側のケーブル類を外に引き出す。

ブラケットに隙間がある場合は、付属のスペーサーをはめ込みます。

3 フロントパネルを本体から取り外す。

4 ケーブル類を接続する。

5 本体をブラケットに差し込み、ネジ止めする。

6 フロントパネルを本体に取り付ける。

AC アダプターをコンセントに接続する

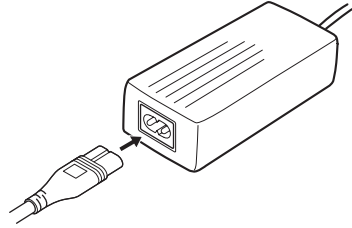
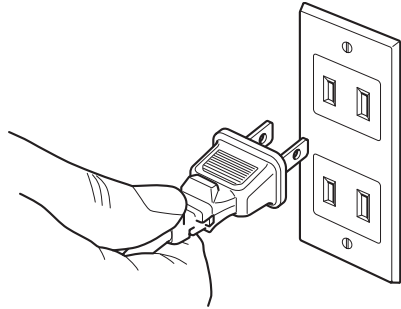
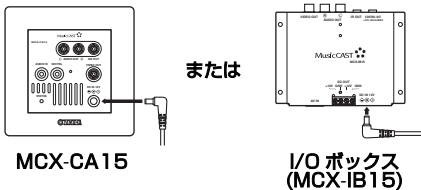
すべての接続が完了したらMCX-CA15または I/O ボックスに、AC アダプターと電源コードを以下の手順で接続します。接続するときに電源プラグの向き（極性）によって音質が変わることがありますので、お好みの向きで接続してください。

ご注意

- 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。
- 火災や感電を防ぐため、ACアダプターはラックなどの安全な場所に置いてください。また電源プラグは、コンセントからすぐ抜けるようにしてください。
- MCX-CA15 をカスケード接続した場合に、１つの AC アダプターで同時に２台以上作動させることはできません。
- MCX-C15とMCX-CA15は、電源に接続されている間は常に電流が流れています。電源を切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

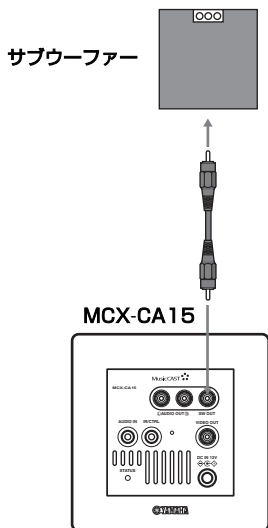
1 ACアダプターをDC IN端子に接続する。

MCX-CA15　　または　　I/O ボックス (MCX-IB15)

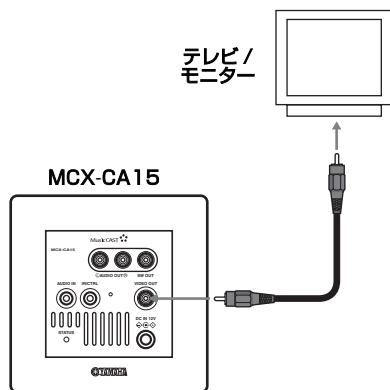
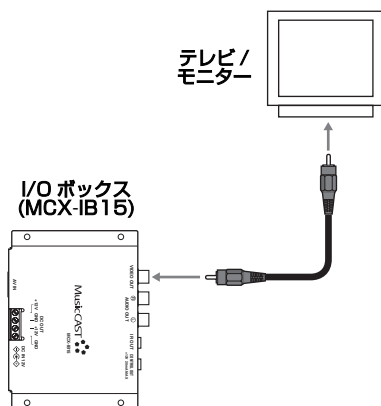
2 電源コードをACアダプターに接続する。

3 電源プラグをコンセントに差し込む。

外部機器の接続

サブウーファーを接続する

MCX-CA15 にサブウーファーを接続すると、より豊かな低音をお楽しみいただけます。低音の聴こえ方はサブウーファーの位置と聴く位置の両方に影響されるので、サブウーファーの位置や角度を、聴く位置に応じていろいろお試しください。

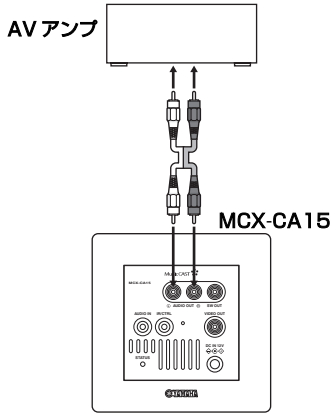
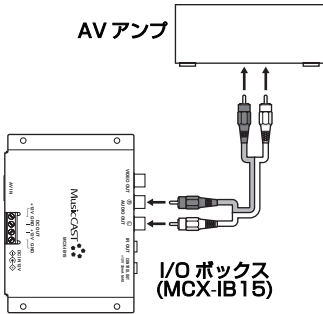
MCX-CA15 の SW OUT 端子にサブウーファーを接続する。

テレビ / モニターを接続する

市販のビデオケーブルを使用してテレビやモニターを接続すると、MCX-C15 のディスプレイの表示内容（Setup 画面など英語表示のみ対応）を、接続した機器のテレビ / モニターに表示することができます。

MCX-CA15 の VIDEO OUT 端子にテレビ / モニターを接続する。

I/O ボックスの VIDEO OUT 端子にテレビ / モニターを接続する。

MCX-C15（VIDEO OUT 端子）に直接テレビやモニターを接続することもできます。

AV アンプを接続する

MCX-CA15 または I/O ボックスに AV アンプを接続して、AV アンプから音声を楽しむことができます。

MCX-CA15 の AUDIO OUT 端子に AV アンプをアナログ接続する。

I/O ボックスの AUDIO OUT 端子に AV アンプをアナログ接続する。

他の外部機器を接続する

DVD プレーヤーなどの外部機器を MCX-CA15 に接続して、それらの機器の出力音声を楽しむことができます。

ご注意

MCX-CA15では音量を調節することはできません。接続する外部機器は音量調節が可能なものをご使用ください。音量調節は接続した外部機器で行ってください。

MCX-CA15 の AUDIO IN 端子に外部機器を接続する。

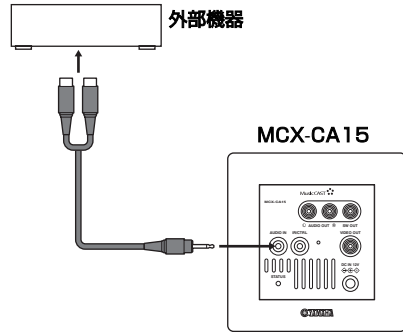
IR フラッシャーを接続する

MCX-CA15 または I/O ボックスに IR フラッシャーを接続すると、AV リンク機能対応のヤマハ AV アンプを操作できます。AV リンク機能について詳しくは、「MCX-C15 取扱説明書」（CD-ROM）の「本機でヤマハ AV アンプを操作する（AV リンク機能）」（☞ 47 ページ）をご参照ください。

ご注意

MCX-CA15 の動作モードを「A」に設定してください（☞4 ページ）。

MCX-CA15 の IR/CTRL 端子に IR フラッシャーを接続する。

I/OボックスのIR OUT端子にIRフラッシャーを接続する。

複数の MCX-CA15 の接続（カスケード接続）

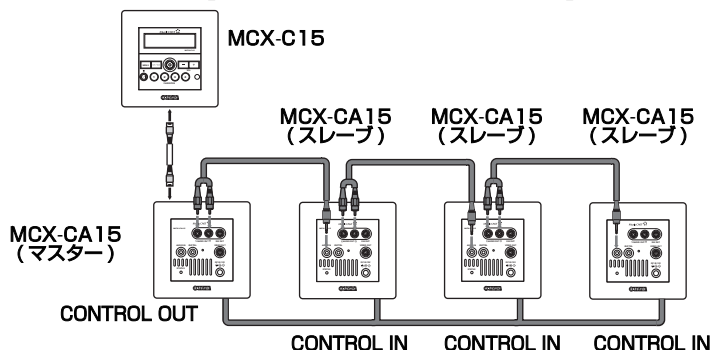
複数の MCX-CA15 を接続して、いっそう充実した音楽再生をお楽しみいただけます（カスケード接続）。

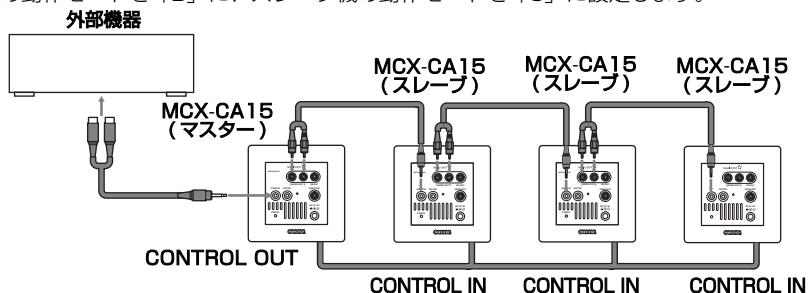
ご注意

- スレーブ機の電源モード（オン / スリープ）は、マスター機の電源に連動して自動的に切り替わります。
- カスケード接続では、マスター機を含め合計 4 台の MCX-CA15 を接続できます。

スレーブ機の IR/CTRL 端子を CONTROL IN 端子として使用することもできます。

■接続例 1

マスター機の動作モードを「A」に、スレーブ機の動作モードを「C」に設定します。

■接続例 2

マスター機の動作モードを「B」に、スレーブ機の動作モードを「C」に設定します。

ご注意

マスター機には、音量が調節できる外部機器を接続してください。音量調節は接続した外部機器で行ってください。

MCX-C15 のご使用前に

MusicCAST システムをバージョンアップする

MCX-C15 を使用するには、MusicCAST システムのファームウェアをバージョンアップする必要があります。バージョンアップは MCX-C15 に付属のアップデート用 CD-ROM（MusicCAST Software Version Up Disc Vol.2.1 Including MCX-C15 Connectivity）を使って、サーバー機で行います。

サーバー機のバージョンアップが終了すると、バージョンアップで追加された機能が使用できます。

ご注意

- MCX-A10 をご使用の場合、バージョンアップは必ずサーバー機およびすべての MCX-A10 で行ってください。この際、サーバー機と MCX-A10 がネットワーク接続されていることをご確認ください。
- バージョンアップはすべての MCX-C15 と MCX-A10 の再生を停止してから行ってください。
- バージョンアップ中に電源の切断などが起きると、ハードディスクにダメージを与える場合がありますのでご注意ください。停電などで電源が切断されてしまった場合はリカバリー (☞20、21 ページ) を実行してください。

- バージョンアップで追加される機能について詳しくは、付属の取扱説明書（CD-ROM）に含まれる「バージョンアップマニュアル Vol.2」（VersionUp_Manual_J.pdf）をご参照ください。

■サーバー機のバージョンアップ

1 サーバー機のTOP MENUキーを押して、トップメニューを表示する。

2 ∧ / ∨ キーを押して「システム設定」を選択し、SELECT キーを押す。

システム設定画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ キーを押して「システムユーティリティ」を選択し、SELECT キーを押す。

システムユーティリティ画面が表示されます。

4 ∧ / ∨ キーを押して「システムのアップデート」を選択し、SELECT キーを押す。

システムのアップデート画面が表示されます。

5 アップデート用CD-ROMをディスクトレイに入れ、ディスクトレイを閉じる。

ディスクトレイを開閉するには OPEN/CLOSE キーを押します。

CD が自動的に読み込まれ、「アップデートの準備ができました」というメッセージが表示されます。

6 SELECT キーを押す。

CD の読み込みが開始され、CD UPDATE 画面に「READING」が表示されます。

読み込みがすべて完了すると、画面左下に「UPDATE OK」というメッセージが表示されます。

7 CD を取り出しディスクトレイを閉じてから、STANDBY/ON キーを押す。

サーバー機がスタンバイモードに切り替わります。

8　再度 STANDBY/ON キーを押す。

サーバー機が再起動され、トップメニューが表示されます。

以上でサーバー機のバージョンアップは完了です。

ご注意

- 「アップデートの準備ができました」というメッセージが表示されない場合は、アップデート用 CD-ROM を入れ直してください。アップデート用 CD-ROM を入れ直してもメッセージが表示されない場合は、本書に記載されていますお客様ご相談センターまでお問い合わせください。
- 「アップデートをもう一度行ってください」というメッセージが表示された場合は、「OK」を選択してSELECTを押し、サーバー機のバージョンアップを再度実行してください。

■MCX-A10 のバージョンアップ

MCX-A10 をご使用の場合、バージョンアップを必ずすべての MCXA10 で行ってください。バージョンアップが終了すると、バージョンアップで追加された機能が使用できます。

1　MENUキーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2　∧ / ∨ キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。

Setup 画面が表示されます。

3　∧ / ∨ キーを押して「System」を選択し、SELECT キーを押す。

System 画面が表示されます。

4　∧ / ∨ キーを押して「System Update」を選択し、SELECT キーを押す。

System Update 画面が表示されます。

5　▷ キーを押す。

更新情報の読み込みが開始され、System Update 画面に [Receiving] → [data Check]→[Flash Erase]→[Flash Write]→[Verify]→[Update O.K.] が表示されます。この後、MCX-A10 が自動的に再起動されトップメニューが表示されます。

以上でMCX-A10のバージョンアップは完了です。

■サーバー機のリカバリー

電源の切断などでバージョンアップが中断した場合は、サーバー機を起動してから以下の手順でリカバリーを実行してください。

システムバージョン画面の Main CPU 欄と MCX-A10 欄に「3.2.x」と表示されていれば、サーバー機のバージョンアップは完了です。詳しくはサーバー機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」の「システムバージョンを確認する」（☞203 ページ）をご参照ください。

ご注意

リカバリーが完了するまでは、アップデート用 CD-ROM を取り出さないでください。

ケース 1

- 「OSD VERSION MISMATCH」画面が表示された
- 「NEED TO UPDATE AMP DATABASE」画面が表示された

または

上記の画面が表示された場合、リカバリーが自動的に開始されます。リカバリーがすべて完了すると、画面左側に「UPDATE OK」または「RECOVERY OK」というメッセージが表示されますので、以下の手順でサーバー機を再起動します。

1 STANDBY/ON キーを押す。

サーバー機がスタンバイモードに切り替わります。

2 再度 STANDBY/ON キーを押す。

サーバー機が再起動されます。

この際、トップメニューが表示されていればリカバリーは完了です。

再度リカバリーが自動的に開始された場合は、画面指示に従って再リカバリーを実行してから、上記の手順でサーバー機を再起動してください。

ケース 2

- **トップメニューが表示され正常に操作できる（外見は正常だが電源の切断などでバージョンアップを完了できなかった）**
- **トップメニューが表示されたが画面に乱れがある**

サーバー機のバージョンアップを再度実行してください（☞18 ページ）。

ケース 3

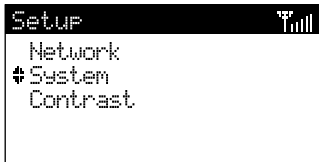
- **トップメニューが表示されたが正常に操作できない**
- **正常に起動されない**

本書に記載されておりますお客様ご相談センターまでお問い合わせください。

■MCX-A10 のリカバリー

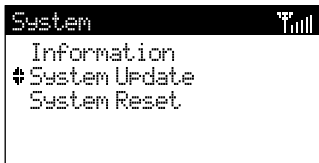
電源の切断などでバージョンアップが中断した場合は、MCX-A10 を起動してから以下の手順でリカバリーを実行してください。

Information画面のVersion 欄に「3.2.x」と表示されていれば、MCX-A10 のバージョンアップは完了です。詳しくは同機に付属の「MCX-A10 取扱説明書」の「システム情報を確認する」(☞72 ページ) をご参照ください。

ケース 1
トップメニューが表示されずに Setup 画面が表示された

以下の手順で MCX-A10 のリカバリーを実行します。

ご注意

「System　Update」を選択する際、誤って「System Reset」を選択してしまうと同機のネットワーク設定が初期化されてしまいますので、お間違えのないようご注意ください。

1 [System]→[System Update]を選択する。

System Update 画面が表示されます。

表示例

2 ▷ キーを押す。

リカバリーが開始され、System Update 画面に [Receiving] → [Data Check] → [Flash Erase]→[Flash Write]→[Verify] → [Update O.K.] が表示されます。この後、MCX-A10 が自動的に再起動されトップメニューが表示されれば、リカバリーは完了です。

ケース 2
トップメニューが表示され正常に操作できる(外見は正常だが電源の切断などでバージョンアップを完了できなかった)

MCX-A10 のバージョンアップを再度実行してください (☞19 ページ)。

MCX-C15 のネットワーク設定

電源モード

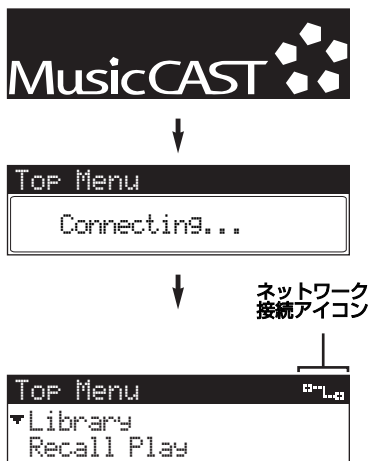
接続およびバージョンアップが完了したら以下の方法で MCX-C15 の電源を入れます。

オン 電源が入っていて、いつでも操作できる状態です。

スリープ 待機状態です。ディスプレイには時刻が表示されます。

MCX-C15 の電源をオンにする前に、サーバー機の電源がオンになっていることをご確認ください。

1 ⏻/I キーを押す。

MCX-C15 の電源がオンになり、ディスプレイの表示が以下のように切り替わります。

トップメニューが表示され、画面右上にネットワーク接続アイコンが点灯します。

「Connecting...」の表示が長く続きトップメニューに切り替わらない場合は、一度 MCX-C15の電源をスリープにしてから再度⏻/I キーを押してください。

再起動後も同じ状態が続く場合は、MCX-C15とサーバー機のネットワークが正しく設定されていない可能性があります。フロントパネル上のいずれかのボタンを押しトップメニューを表示してから、各機のネットワーク設定をご確認ください。MCX-C15のネットワーク設定については同機に付属している「MCX-C15 取扱説明書」（CD-ROM）の「ネットワーク設定の確認」（☞58 ページ）、サーバー機のネットワーク設定については同機に付属している「MCX-1000 取扱説明書」の「ネットワーク（LAN）の設定をする」（☞158 ページ）をご参照ください。

ご注意

各機のネットワークが正しく設定されているにも関わらず実際の接続ができない場合、ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。詳しくは「壁内部のケーブル接続」（☞6 ～ 8 ページ）をご参照ください。

💡

再生停止中に操作をしない状態が 30 分間続くと、MCX-C15 の電源モードが自動的にスリープに切り替わります。電源モードを再度オンにするには、SELECT キーまたは⏻/I キーを押してください。

ネットワークの自動設定

MCX-C15 とサーバー機のネットワークを自動で設定することができます。

ネットワークを設定する前に以下の作業を行ってください。

- MCX-C15 にすべての機器を接続してください。
- サーバー機のシステムをバージョンアップしてください（☞18 ページ）。
- サーバー機をネットワーク自動設定モードにしてください。詳しくは同機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」の「ネットワークの自動設定」（☞161 ページ）をご参照ください。

■MCX-C15 の操作

1 MENUキーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 ∧ / ∨ キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。

Setup 画面が表示されます。

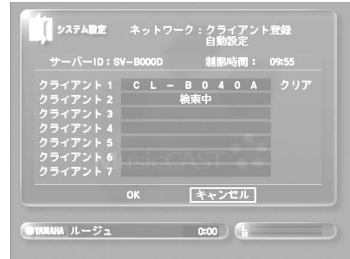
3 ∧ / ∨ キーを押して「Network」を選択し、SELECT キーを押す。

Network 画面が表示されます。

4 ∧ / ∨キーを押して「Auto Configuration」を選択し、SELECT キーを押す。

Auto Configuration 画面が表示されます。

5 ▷ キーを押してネットワークの自動設定を開始する。

ネットワークの自動設定を実行せずに操作を中止する場合は、＜キーを押します。

自動設定中のクライアント機の ID がサーバー機の画面に表示されます。

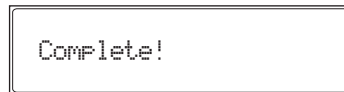
自動設定モードになっているサーバー機が複数存在する場合は、クライアント機の画面に複数のサーバー機が表示されます。∧ / ∨ キーで接続するサーバー機の ID を選択し SELECT キーを押してください。

■サーバー機の操作

6 ∧ / ∨ / ＜ / ＞キーを押して「OK」を選択し、SELECT キーを押す。

設定内容を保存し、ネットワーク自動設定を終了します。またネットワーク自動設定は 5 分かかる場合があります。

ネットワーク自動設定が終了すると、MCX-C15 に以下の画面が表示されます。

Complete!

ネットワークの手動設定

MCX-C15 とサーバー機のネットワークを手動で設定することができます。この設定は、ネットワーク自動設定によりネットワーク設定が完了している場合は必要ありません。

手動設定を行う場合、すべての項目を設定する必要はありませんが、以下の項目は必ず設定してください。

- サーバー ID
- IPアドレス(DHCPがOFFになっている場合)
- サブネットマスク（*)

* MusicCAST システムは（1 台以上のハブで構成された）同一サブネット内でのみ正常に作動します。

手動設定の前に、以下の作業を行ってください。

- MCX-C15 にすべての機器を接続してください。
- サーバー機のシステムをバージョンアップしてください（☞18 ページ)。
- クライアント ID をサーバー機に登録してください。詳しくはサーバー機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」の「クライアント ID の手動設定」(☞177 ページ）をご参照ください。
- サブネットマスクをサーバー機に設定してください（サーバー機と MCX-C15 に同一の値を設定する必要があります）。詳しくはサーバー機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」の「サーバー機の IP アドレスを設定する」(☞166 ページ）をご参照ください。

1 MENUキーを数秒間押し続けてトップメニューを表示する。

2 ∧ / ∨ キーを押して「Setup」を選択し、SELECT キーを押す。

Setup 画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ キーを押して「Network」を選択し、SELECT キーを押す。

Network 画面が表示されます。

4 ∧ / ∨ キーを押して「Manual Setup」を選択し、SELECT キーを押す。

Manual Setup 画面が表示されます。

■サーバー ID を設定する

MCX-C15 を接続するサーバー機の ID を設定します。

サーバー ID は、サーバー機の画面に表示されるとおり正確に入力してください。サーバー機の ID を確認する方法は、サーバー機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」の「IP アドレス画面を表示する」(☞175 ページ）をご参照ください。

1 [Top Menu]→[Setup]→[Network]→[Manual Setup] を選択する。

Manual Setup 画面が表示されます。

2 ∧ / ∨ キーを押して「Server ID」を選択し、SELECT キーを押す。

Server ID 画面が表示されます。

3 ＞ キーを押して「SV-0001」を選択し、SELECT キーを押す。

設定欄にカーソルが表示されます。

4 接続するサーバー機の ID を入力し、SELECT キーを押す。

文字の選択は ∧ / ∨ キー、カーソルの左右移動は ＜ / ＞ キーを使用します。

5 ∧ / ∨ キーを押して「Save&Network restart」を選択し、SELECT キーを押す。

サーバーIDを設定せずに操作を中止するには、∧ / ∨ キーを押して「Cancel」を選択し、SELECT キーを押します。

ディスプレイの表示が Manual Setup 画面に戻ります。

■ DHCP モードを設定する

MCX-C15 の電源を入れるたびに DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得したいときは、DHCP 設定を ON にします（初期設定）。

1 [Top Menu] → [Setup] → [Network] → [Manual Setup] を選択する。

Manual Setup 画面が表示されます。

2 ∧ / ∨ キーを押して [DHCP」を選択し、SELECT キーを押す。

DHCP 画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ キーを押して DHCP モードを選択する。

ON DHCP サーバーから IP アドレスを自動設定するときに設定します（初期設定）。
DHCPサーバーの設定を変更した場合は、MCX-C15 を再起動してください。

OFF IP アドレスやサブネットマスクを手動設定するときに設定します。

■ IP アドレスを設定する

MCX-C15 の IP アドレスを手動で入力できます。この設定は、DHCP サーバーモードが「OFF」に設定されているときのみ有効です。

1 [Top Menu] → [Setup] → [Network] → [Manual Setup] を選択する。

Manual Setup 画面が表示されます。

2 ∧ / ∨ キーを押して「IP Address」を選択し、SELECT キーを押す。

IP Address 画面が表示されます。

3 ＞ キーを押して「0.0.0.0」を選択し、SELECT キーを押す。

設定欄にカーソルが表示されます。

4 IPアドレスを入力し、SELECTキーを押す。

数値の変更は ∧ / ∨ キー、カーソルの左右移動は ＜ / ＞ キーを使用します。4 つの欄すべてに入力してください。

5 ∧ / ∨キーを押して「Save&Network restart」を選択し、SELECT キーを押す。

IPアドレスを設定せずに操作を中止するには、∧ / ∨ キーを押して「Cancel」を選択し、SELECT キーを押します。

IP Address
[0. 0. 0. 0]
Save & Network restart

ディスプレイの表示が Manual Setup 画面に戻ります。

■サブネットマスクのアドレスを設定する

サブネットマスクを手動で入力できます。この設定は、DHCP サーバーモードが「OFF」に設定されているときのみ有効です。

MCX-C15 のサブネットマスクは、サーバー機の画面に表示されるとおり正確に入力してください。サーバー機のサブネットマスクを確認する方法は、サーバー機に付属の「MCX-1000 取扱説明書」の「IP アドレス画面を表示する」(☞175 ページ)をご参照ください。

1 [Top Menu]→[Setup]→[Network]→ [Manual Setup] を選択する。

Manual Setup 画面が表示されます。

2 ∧ / ∨ キーを押して「Subnet Mask」を選択し、SELECT キーを押す。

Subnet Mask 画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ キーを押して「0.0.0.0」を選択し、SELECT キーを押す。

設定欄にカーソルが表示されます。

4 サブネットマスクを入力し、SELECT キーを押す。

数値の変更は ∧ / ∨ キー、カーソルの左右移動は < / > キーを使用します。4 つの欄すべてに入力してください。

5 ∧ / ∨キーを押して「Save&Network restart」を選択し、SELECT キーを押す。

サブネットマスクを設定せずに操作を中止するには、∧ / ∨ キーを押して「Cancel」を選択し、SELECT キーを押します。

ディスプレイの表示が Manual Setup 画面に戻ります。

故障かな？と思ったら

ご使用中に MCX-C15/ MCX-CA15 が正常に作動しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や、対処しても正常に作動しない場合は、MCX-C15 の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げ店または最寄のヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせの上、サービスをご依頼ください（巻末の「ヤマハホットラインサービス」をご覧ください）。

症状	原因	対策	参照ページ
MCX-C15 が本書の説明どおりに作動しない。	MusicCAST システムのファームウェアがバージョンアップされていない。	サーバー機をバージョンアップしてください。	18 ページ
ネットワーク自動設定が正常に機能しない。	ネットワークが正しく設定されていない。	サーバー機のネットワーク設定を確認してください。	MCX-1000 取扱説明書（175 ページ）
	サーバー機がネットワーク自動設定モードになっていない。	サーバー機をネットワーク自動設定モードにしてください。	MCX-1000 取扱説明書（161 ページ）
	サーバー機が録音中である。	サーバー機の録音を停止し、もう一度ネットワーク自動設定を実行してください。	23 ページ MCX-1000 取扱説明書（161 ページ）
	ネットワーク上に DHCP サーバーが 2 台以上あり、同じ IP アドレスを使おうとしている。	ネットワーク上のDHCPサーバーを 1 台にしてください。	MCX-1000 取扱説明書（169 ページ）
MCX-C15 から音が出ない	ネットワーク自動設定が完了していない。	ネットワーク自動設定を実行してください。	23 ページ
	ネットワークが正しく設定されていない。	クライアント機とサーバー機のネットワーク設定を確認してください。	MCX-C15 取扱説明書（58 ページ） MCX-1000 取扱説明書（175 ページ）
	サーバー機の電源モードがスタンバイになっている。	サーバー機の電源モードをオンにしてください。	—
	サーバー機に MP3 フォーマットに変換された曲データが保存されていない。	サーバー機に曲を録音してください。	MCX-1000 取扱説明書（25 ページ）

症状	原因	対策	参照ページ
MCX-C15 から音が出ない	MCX-C15 の音量が低く設定されている。	MCX-C15 の音量を上げてください。	MCX-C15 取扱説明書（20 ページ）
	スピーカーが MCX-CA15 に正しく接続されていない。	スピーカーと MCX-CA15 の接続を確認し、正しく接続しなおしてください。	8 ページ
	MCX-C15の「Amplifier」が正しく設定されていない。	接続したアンプに合わせて正しく設定してください。	MCX-C15 取扱説明書（47 ページ）
MCX-C15の再生音が音飛びする	ネットワークが非常に混雑している。	ネットワーク周辺機器をアップグレードするか、MusicCASTシステムのネットワークを既存のネットワークから独立させてください。	ー
MCX-CA15 の STATUS ランプが点滅する（保護回路が作動している）	ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルを正しく接続しなおしてください。 MCX-CA15 を MCX-C15 に接続して使用している場合は、MCX-C15 の⏻/Iボタンを約10秒間押してシステムを再起動してください。 MCX-CA15 を他のオーディオ機器に接続して使用している場合は、MCX-CA15 のフロントパネル内にある RESET ボタンを押して MCX-CA15 を再起動してください。	5 ページ
	低インピーダンスのスピーカーを使用している。	4Ω 以上のインピーダンスをもつスピーカーを使用してください。 MCX-CA15 を MCX-C15 に接続して使用している場合は、MCX-C15 の⏻/Iボタンを約10秒間押してシステムを再起動してください。 MCX-CA15 を他のオーディオ機器に接続して使用している場合は、MCX-CA15 のフロントパネル内にある RESET ボタンを押して MCX-CA15 を再起動してください。	5 ページ

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

● **ヤマハ電気音響製品サービス拠点**

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西 1-1-50
ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙　台 〒984-0015 仙台市若林区卸町 5-7
仙台卸商共同配送センター 3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島２丁目１番１号
京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

浜　松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町 2-1-2
ヤマハ (株) 名古屋流通センター 3F
TEL (052) 652 - 2230

大　阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ（株）
千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

四　国 〒760-0029 高松市丸亀町 8-7
（株）ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

九　州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前 2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検

★永年ご使用の製品の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

● **保証期間**
お買い上げ日より１年間です。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**

◆ **技術料**　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

◆ **部品代**　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

◆ **出張料**　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品（下記参照）が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくために AV 製品全般について記載しております。

製品の機能や取扱いに関するお問い合わせは、お客様ご相談センターにご連絡ください。

お客様ご相談センター
TEL（0570）01 - 1808（ナビダイヤル）
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS からは下記番号におかけください。
TEL （053）460 - 3409

FAX（053）460 - 3459
住所 〒430-8650
静岡県浜松市中沢町 10-1
ご相談受付時間　10:00〜12:00、13:00〜18:00
（日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。）

ヤマハオーディオ＆ビジュアルホームページ
http://www.yamaha.co.jp/audio/

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中沢町 10-1

MCX-CA15

アンプ

ヤマハアンプMCX-CA15をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

■ 保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

取扱説明書

安全上のご注意（安全に正しくお使いいただくために）

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例

気をつけなければならない内容を表しています。
たとえば ⚠ は「感電注意」を示しています。

してはいけない行為を表しています。
たとえば 🛇 は「分解禁止」を示しています。

必ずしなければならない行為を表しています。
たとえば ● は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なにおいや音がする。
- 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水滴の混入により火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。

感電の原因となります。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。

修理・調整は販売店にご依頼ください。

禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- あおむけや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
  （少なくともMCX-CA15の上下左右10cm以上離して設置してください。）

本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。

禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

必ず行う

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

必ず行う

必ず AC100V（50/60Hz）の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

必ず行う

電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。

禁止

本機にものを入れたり、落としたりしない。

火災や感電の原因となります。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

- 水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
- 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒してけがの原因となることがあります。

禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。

必ず行う

再生を始める前には、音量（ボリューム）を最小にする。

突然大きな音が出て聴力障害の原因となることがあります。

プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

移動をするときには、本機（または接続機器）の電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

- 接続機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
- コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。

聴力障害の原因となることがあります。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

必ず行う

電池は極性表示（プラス⊕とマイナス⊖）に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。

感電の原因となることがあります。

注意

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

それらの製品とはできるだけ離して設置してください。

必ず行う

電源プラグは確実にコンセントに根もとまで確実に差し込む。

差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを差し込んだときゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱・火災の原因となることがあります。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。

注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

結露が発生した場合には、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

必ず行う

必ず付属の専用 AC アダプターおよび DC 電源コードを使用する。

専用 AC アダプターおよび DC 電源コード以外の使用は、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

お客さまによる工事は一切行わないでください。
（工事は技術と経験が必要です。専門の工事業者または販売店にご依頼ください。）

不充分な取り付けは、本機が落下して、けがをする原因となることがあります。

必ず行う

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外してください。電池が破裂したり、電池から液が漏れることがあります。

必ず行う

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄してください。

AC アダプターは電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届く状態でご使用ください。

目次

はじめに

本機の設定

付録

本機の特長

本機 MCX-CA15 は、MCX-C15 と組み合わせて使用することを目的としたパワーアンプです。アンプとしての機能や MCX-C15 への電源供給はもちろん、AV リンク機能やメニュー画面のオンスクリーン表示などMCX-C15の機能をフル活用して音楽をお楽しみいただくことができます。また他のオーディオ機器のパワーアンプとしてもご使用いただけます。

本機の主な特長は以下のとおりです。

- ◆ 動作モードを簡単切り替え
- ◆ 17W+17W のパワー出力
- ◆ インテリアにとけこむ洗練されたデザイン（壁はめ込みタイプ）
- ◆ 各スピーカーやサブウーファーを本機のパネルから簡単接続
- ◆ 外部オーディオシステムで使用する際にプリアンプの選択可能
- ◆ テレビやモニターを接続して MCX-C15 をオンスクリーンで設定
- ◆ IR フラッシャーを接続して MCX-C15 からヤマハ AV アンプを簡単操作（AV リンク機能）
- ◆ MCX-C15 に電源供給

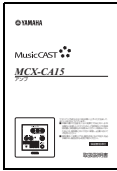
本書について

- 本書は主に本機の使用方法について説明しています。本機の設置およびネットワーク設定については、付属の「設置マニュアル」をご参照ください。
- 「ご注意」では操作・設定を行う際に留意すべき事項、「」では知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- 本書は製品開発に先がけ作成されております。その後、操作性の向上、その他の理由により、製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

本機の設置は必ず関連知識を有する工事・施工業者が行ってください。詳しくは付属の「設置マニュアル」をご参照ください。

付属品の確認

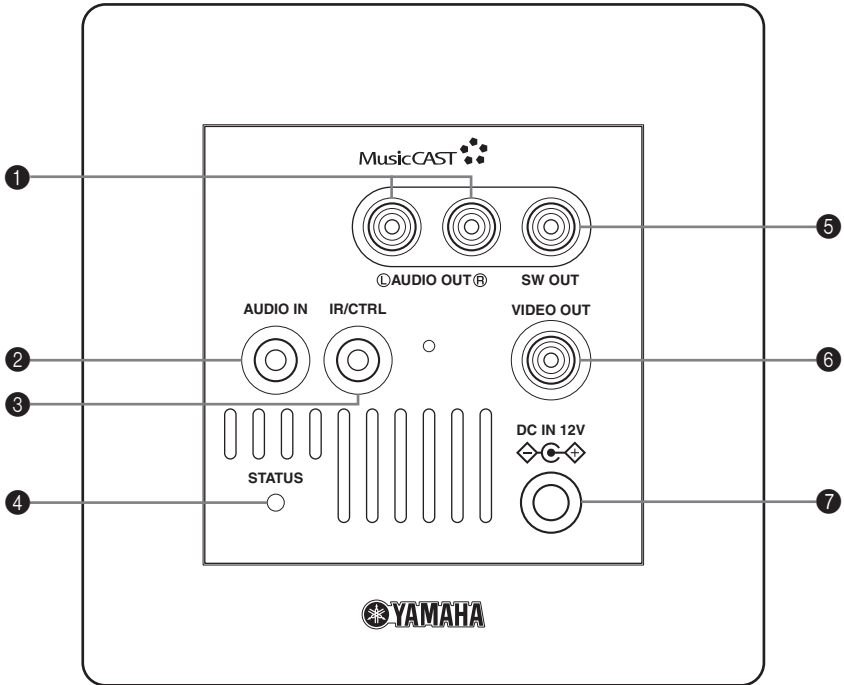
同梱されている付属品を確認してください。

取扱説明書
（本書）

設置マニュアル

スペーサー 4 個

ステレオピン /
ミニ変換ケーブル（1m）

各部の名称とはたらき

フロントパネル（前面）

❶ AUDIO OUT 端子

外部アンプの音声入力端子（アナログ）と接続します。

❷ AUDIO IN 端子

音量調節が可能な外部機器の音声出力端子（アナログ）と接続すると、その機器の音声を本機で再生することができます。

❸ IR/CTRL 端子

本機を MCX-C15 に接続している場合は、IR 出力端子として機能します。この場合、IR フラッシャーを接続すると AV リンク機能を使用してヤマハ AV アンプを操作することができます。

本機を外部機器に接続し動作モードを「C」に設定している場合は、コントロール入力端子として機能します（☞10 ページ）。

❹ STATUS ランプ

点灯パターンにより本機の状態を示します。

点灯：電源モードがオン（信号を受信中）

薄暗い点灯：電源モードがスリープ

点滅：保護回路が作動中、異常の発生

点灯と薄暗い点灯の繰り返し（10 秒間）：電源に接続（初回のみ）、システム再起動

❺ SW OUT 端子

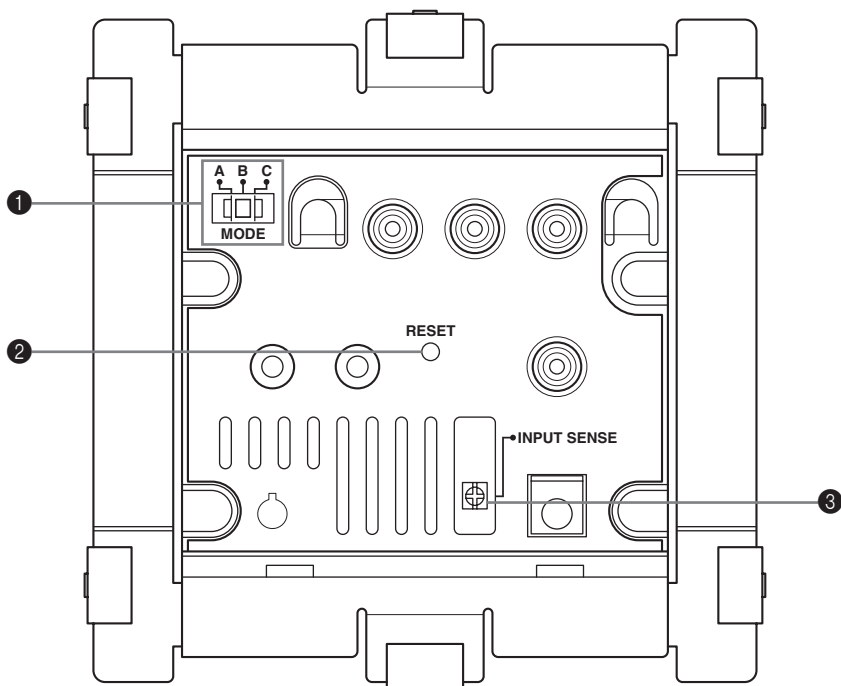
サブウーファーと接続すると、迫力ある重低音を出力することができます。

❻ VIDEO（ビデオ） OUT（アウト） 端子

市販のビデオケーブルを使用してテレビやモニターのビデオ入力端子と接続します。これにより、接続したテレビやモニターの画面でMCX-C15 のディスプレイ表示内容を確認することができます。ただし日本語は表示されないため、ライブラリーの操作などにはご使用いただけません。Setup 画面で設定操作を行う際などにご使用ください。

❼ DC（ディーシー） IN（イン） 12V 端子

AC アダプターを接続します。

フロントパネル内側（パネルを外した状態）

❶ MODE（モード）スイッチ

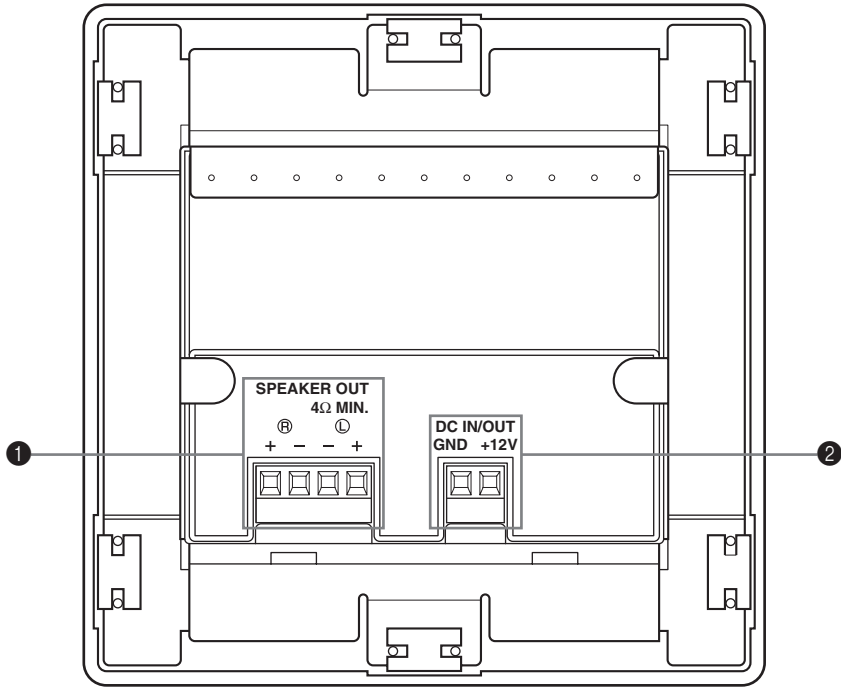
本機の動作モードを切り替えます（☞9 ページ）。

❷ RESET（リセット）ボタン

本機を再起動します。保護回路が作動した場合や操作モードを切り替えた際にご使用ください。

❸ INPUT（インプット） SENSE（センス）ネジ

動作モードを B モードに設定した際、本機が作動する入力感度を調節します（☞12 ページ）。

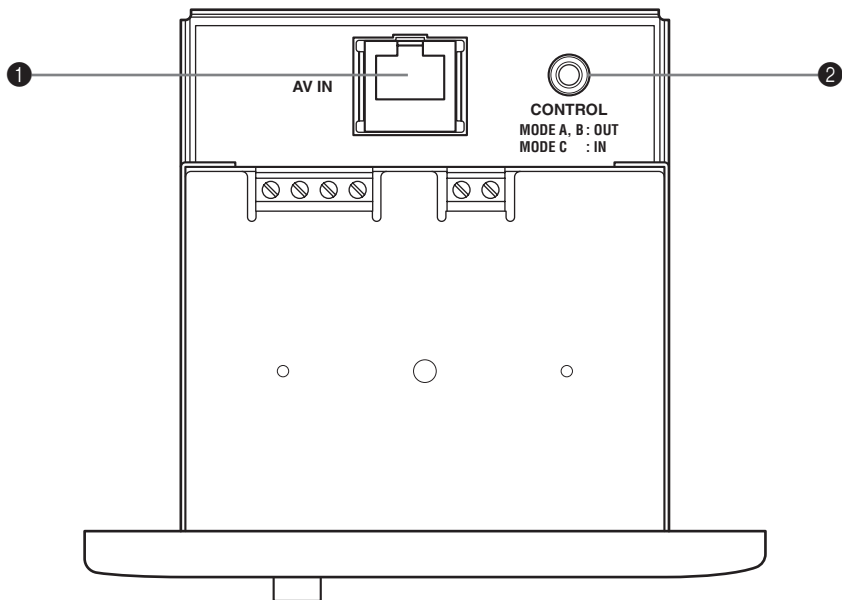
リアパネル（後面）

❶ SPEAKER（スピーカー） OUT（アウト） 端子

市販のスピーカーケーブルを使用してスピーカーを接続します。

❷ DC（ディーシー） IN/OUT（イン/アウト） 端子

DC 電源ケーブルを接続します。接続方法について詳しくは付属の「設置マニュアル」をご参照ください。

ボトムパネル（底面）

❶ AV IN 端子（エーブイ イン）

MCX-C15 に付属の CAT-5 ケーブルを使用して MCX-C15 の AV OUT 端子と接続し、MCX-C15 から信号を入力します。

❷ CONTROL OUT/IN 端子（コントロール アウト/イン）

外部機器や別の MCX-CA15 と接続し、本機や接続した機器の電源を制御します。

各機能の設定

動作モードを設定する

本機はMusicCASTのMCX-C15と組み合わせて使用することを目的としたパワーアンプですが、他のオーディオ機器のパワーアンプとしてもご使用いただけます。ただし接続する機器に応じて、本機の各部位に特定のはたらきを割り当てる必要があります。これを動作モードといいます。本機を各機器と接続する前に、以下の説明をよく読み、目的に応じた動作モードを設定してください。

ご注意

動作モードの設定は、本機を電源と接続する前に行ってください。

■動作モード

モード	説明
A モード A B C MODE	本機を MCX-C15 と接続する際に使用するモードです。このモードでは、MCX-C15を操作して本機を制御することができます。また本機のIR/CTRL端子に IR フラッシャーを接続して AV リンク機能を使用することも可能です。AV リンク機能について詳しくは、「MCX-C15 取扱説明書」(CD-ROM)の「本機でヤマハ AV アンプを操作する（AV リンク機能）」（☞47 ページ）をご参照ください。
B モード A B C MODE	本機を MCX-C15 以外の機器と接続する際に使用するモードです。このモードでは、INPUT SENSE ネジ（☞12 ページ）で設定した入力感度により本機の電源が制御されます。
C モード A B C MODE	本機を MCX-C15 以外の機器と接続する際に使用するモードです。このモードでは、接続した外部機器の制御信号により本機の電源が制御されます。

ご注意

- 本機と外部機器の接続および取り外しは、本機の AC アダプターをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 本機では音量を調節することはできません。本機から音声を出力する前に、本機に接続した MCX-C15 や外部機器の音量を調節してください。

■各モードの説明

モード	IR/CTRL 端子の機能 (☞4 ページ ❸)	CONTROL IN/ OUT 端子の機能 (☞8 ページ ❷)	INPUT SENSE ネジの 機能 (☞6 ページ ❸)
A モード	IR 出力 (AV リンク機能を使用)	コントロール出力	無効
B モード	無効	コントロール出力	入力感度の調節
C モード	コントロール入力	コントロール入力	無効

各端子に割り当てられる機能の説明は以下のとおりです。INPUT SENSE については、「入力感度を調節する」(☞12 ページ)をご参照ください。

IR 出力
A モード設定時、IR/CTRL 端子は IR 出力端子として機能します。IR フラッシャーを同端子に接続すると、AV リンク機能を使用して本機に接続したヤマハ AV アンプを操作することができます。AV リンク機能について詳しくは、「MCX-C15 取扱説明書」(CD-ROM)の「本機でヤマハ AV アンプを操作する(AV リンク機能)」(☞47 ページ)をご参照ください。

ご注意

本機は周波数が 38kHz の赤外線にのみ対応しています。

コントロール出力
A または B モード設定時、CONTROL IN/OUT 端子はコントロール出力端子として機能します。本機をカスケード接続のマスター機として使用する際、同端子に別の MCX-CA15(スレーブ機)を接続することにより、各スレーブ機の電源モードを制御することができます。

コントロール入力
C モード設定時、IR/CTRL 端子および CONTROL IN/OUT 端子はコントロール入力端子として機能します。本機を MCX-C15 以外の外部機器と組み合わせて使用する際、同端子と外部機器の CONTROL OUT 端子を接続して、その外部機器からの制御信号により本機の電源モードを制御することができます。

ご注意

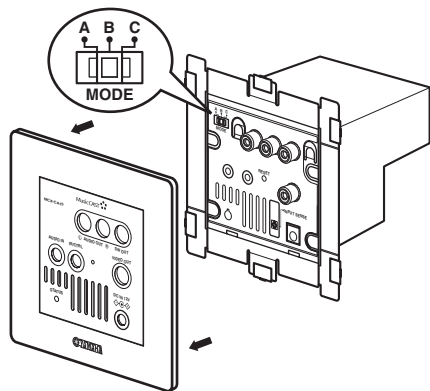
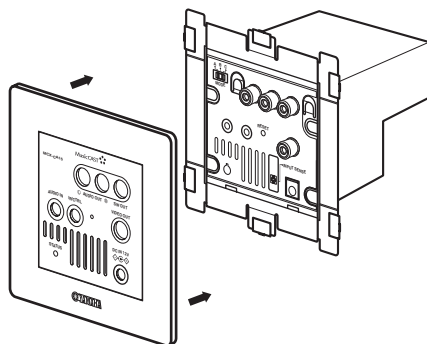
コントロール出力端子およびコントロール入力端子で接続した各機器間の電源モードは、電圧が 3 〜 30V の制御信号により制御されます。

■動作モードを切り替える

以下の手順で本機の動作モードを切り替えます。

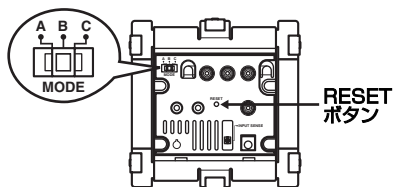
ご注意

- MCX-CA15 の動作モードを、接続状態に合わせて設定してください。
- フロントパネルを取り外したり取り付けたりする際は、パネルを無理に引っ張ったり押し込んだりしないでください。

1 フロントパネルを本体から取り外す。

2 MODE スイッチを使用する動作モード（☞9 ページ）にあわせる。

3 RESET ボタンを押す。

ボールペンなど先の細長いものを使用してボタンを押します。

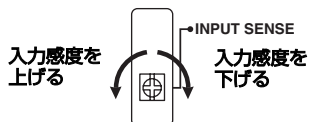
4 フロントパネルを本体に取り付ける。

入力感度を調節する

動作モードを「B」に設定している場合、AUDIO IN 端子に接続した外部機器の音量により、本機の電源モードが自動的にオンになり音声を出力します。この際、入力感度を調節して本機を自動的に起動させる音量のレベルを設定することができます。入力感度を上げると、本機はより小さな音を感知できるようになり、外部機器の音量が小さくても起動するようになります。逆に入力感度を下げると、本機は小さな音を感知できなくなり、外部機器の音量が大きい場合のみ起動するようになります。

ご注意

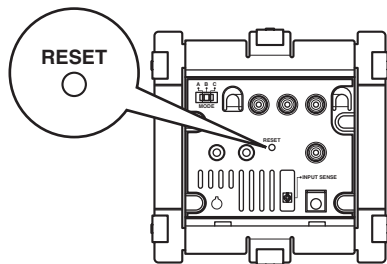
入力感度の設定は、動作モード（☞9 ページ）を「B」に設定している場合のみ有効です。

入力感度を上げる（感知する音量を下げる）
INPUT SENSE を左に回す。

入力感度を下げる（感知する音量を上げる）
INPUT SENSE を右に回す。

- 入力音を感知しない状態が 5 分間続くと、本機の電源モードは自動的にスリープになります。
- 入力感度を最高にする（左端まで回す）と本機の電源モードは常にオンになり、最低にする（右端まで回す）と常にスリープになります。
- 本機の電源モードがスリープになっている場合、本機は音声を出力しません。

システムを再起動する

以下のような場合、本機のシステムを再起動する必要があります。

- ショートなどの理由で本機の保護回路が作動し、電源が自動的にオフになった。
- 動作モード（☞9 ページ）を切り替えた。

RESET ボタンを押す。

本機のシステムが再起動されます。

本機を MCX-C15 と接続して使用している際にシステム全体を再起動する場合、MCX-C15 の⏻/I ボタンを約 10 秒間押すことにより本機も同時に再起動されます。この場合、本機を個別に再起動する必要はありません。

故障かな？と思ったら

ご使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や、対処しても正常に作動しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げ店または最寄のヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせの上、サービスをご依頼ください（巻末の「ヤマハホットラインサービスネットワーク」をご覧ください。）。

症状	原因	対策	参照ページ
MCX-C15 から音が出ない	MCX-C15 の音量が低く設定されている。	MCX-C15 の音量を上げてください。	MCX-C15 取扱説明書 (20 ページ)
	スピーカーが本機に正しく接続されていない。	スピーカーと本機の接続を確認し、正しく接続しなおしてください。	―
	MCX-C15の「Amplifier」が正しく設定されていない。	MCX-C15 の「Amplifier」設定で「MCX-CA15」を選択してください。	MCX-C15 取扱説明書 (47 ページ)
AV リンク機能が正しく機能しない	信号が弱い（IR フラッシャー接続時）。	IR フラッシャーの発光部がヤマハAVアンプの赤外線受光部に向くよう正しく配置してください。	MCX-C15 取扱説明書 (47 ページ)
チューナーの近くで本機を使用するとラジオ放送にノイズが入る	本機とチューナーの距離が近すぎる。	本機とチューナーを 1m 以上離して設置してください。	―
本機のSTATUS ランプが点滅する（保護回路が作動している）	ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルを正しく接続しなおしてください。 本機を MCX-C15 に接続して使用している場合は、MCX-C15の ⏻/I ボタンを約10秒間押してシステムを再起動してください。 本機を他のオーディオ機器に接続して使用している場合は、本機のフロントパネル内にあるRESET ボタンを押して本機を再起動してください。	12 ページ
	低インピーダンスのスピーカーを使用している。	4Ω 以上のインピーダンスをもつスピーカーを使用してください。 本機を MCX-C15 に接続して使用している場合は、MCX-C15 の⏻/I ボタンを約10秒間押してシステムを再起動してください。 本機を他のオーディオ機器に接続して使用している場合は、本機のフロントパネル内にある RESET ボタンを押して本機を再起動してください。	12 ページ

仕様

オーディオ部

SPEAKER OUT
- 定格出力（1kHz、1%THD）.................... 13W + 13W
- 実用最大出力（1kHz、10%THD、EIAJ）

  2 チャンネル使用時 .... 17W + 17W
  1 チャンネル使用時 18W
- 入力感度 / インピーダンス（1kHz、1%THD）

  A、B モード使用時 220mV/3kΩ
  C モード使用時 780mV/3kΩ

AUDIO OUT
- 周波数特性 （EIAJ）.................... 20Hz ～ 20kHz、± 1.0dB
- 全高調波歪率 （EIAJ）.................... 0.008%
- S/N 比 （EIAJ）.................... 98dB
- ダイナミックレンジ （EIAJ）.................... 98dB
- 出力レベル / インピーダンス

  AUDIO OUT
  （AUDIO IN 端子から 1kHz、220mV 入力）.................... 1.0Vrms/1kΩ
  （CAT-5 ケーブルで接続した MCX-C15 から 1kHz、0dB、ボリューム -20dB 入力）
  .... 1.0Vrms/1kΩ
  SW OUT（AUDIO IN 端子から 50Hz、220mV 入力）.................... 1.0Vrms/2.1kΩ

一般
- 電源 / 電圧.................... AC 100V、50/60Hz
- 消費電力 40W
- 動作温度 .... 5 ～ 35 ℃
- 寸法（幅×高さ×奥行き）.................... 120 × 120 × 105mm
- 質量（AC アダプターを除く）.................... 0.6kg

* 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

本機は「 JIS C 61000-3-2 」適合品です。
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第 3-2 部：限度値ー高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

● **ヤマハ電気音響製品サービス拠点**

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西 1-1-50 ヤマハセンター内 TEL (011) 512 - 6108

仙　台 〒984-0015 仙台市若林区卸町 5-7 仙台卸商共同配送センター 3F TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島 2 丁目 1 番 1 号 京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F TEL (03) 5762 - 2121

浜　松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内 TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町 2-1-2 ヤマハ (株) 名古屋流通センター 3F TEL (052) 652 - 2230

大　阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ（株）千里丘センター内 TEL (06) 6877 - 5262

四　国 〒760-0029 高松市丸亀町 8-7 (株）ヤマハミュージック神戸 高松店内 TEL (087) 822 - 3045

九　州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前 2-11-4 TEL (092) 472 - 2134

愛情点検

★永年ご使用の製品の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

● **保証期間**
お買い上げ日より 1 年間です。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**

◆ **技術料**　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

◆ **部品代**　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

◆ **出張料**　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品 (下記参照) が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくために AV 製品全般について記載しております。

製品の機能や取扱いに関するお問い合わせは、お客様ご相談センターにご連絡ください。

お客様ご相談センター
TEL（0570）01 - 1808（ナビダイヤル）
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS からは下記番号におかけください。
TEL （053）460 - 3409

FAX (053）460 - 3459
住所 〒430-8650
静岡県浜松市中沢町 10-1
ご相談受付時間　10:00〜12:00、13:00〜18:00
(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

ヤマハオーディオ＆ビジュアルホームページ
http://www.yamaha.co.jp/audio/

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中沢町 10-1